

2010年度

科目名	考古学実習Ⅱ			
担当教員	犬木 努			
配当	文財2		コード	21260
開期	後期	講時	火曜日1限	単位数 1
授業テーマ	考古学に関わる諸技術の基礎を修得する。			
目的と概要	考古学においては、発掘調査から整理作業、報告書作成作業にいたるまで、さまざまな特殊技術の習得が不可欠である。考古学徒として必要なことは、第一に遺跡の発掘を行うことができること、第二にモノの実測ができることである。これらは実習の授業だけで、一朝一夕に学べることではないが、とりあえず考古学徒としてめざすべき地平(考古学界として保つべき水準)を知ってもらうとともに、できる限りそれに近い技術を体得してもらう。			
成績評価法	①普段の提出物の出来具合、②平常点、③レポートによる。 なお、レポートについては、4～5回程度、適宜、授業内容に関する内容で作成してもらう。			
テキスト	使用しない。適宜、資料を配布する。			
参考書	全国大学博物館学講座協議会西日本部会編『博物館実習マニュアル』芙蓉書房出版			
履修に当たっての注意・助言	本実習は、考古学に必要な専門技術について、高いレベルでの習得を目指すものであり、中途半端な気持ちで受講しないこと。			
講義計画				
<p>授業時数は15回。 主として以下のような内容の授業を行う。</p> <p>①資料の実測：実測図の作成方法を学ぶ（土器・石器・埴輪など）          ②図面のトレース          ③写真撮影：撮影（ライティングなど）、現像、焼付、引伸の基本を学ぶ          ④版組、割付けの方法</p> <p>※各項目をそれぞれ数回にわたって行う。また順番・内容については変更する場合がある。</p>				